

おらびと芸術館

俳句(火の国俳句会)

菜園の南瓜が旨い夕餉かな
寝転んで窓の風受く秋の雲
敗戦忌語り部の人また逝けり
橋の上親族揃い施餓鬼かな
有線の帰宅促す秋夕焼

田尻 盛隆
松嶋よう子
菊池 蘇水
田尻みな子
中島 敬吾

兼題(夜長・長き夜)

面白くて哀しい夜長の読書
確かめの頁を戻る夜長かな
友逝きて夜長寂しきアルコール
長き夜は友と語らい酒を飲む
長き夜や読みたい本に囲まれて

菊池 蘇水
中島 敬吾
松嶋よう子
田尻 盛隆
田尻みな子

短歌

土用あけ 大きな嵐 見舞われし
尊い命 幾人も消ゆ

朝顔が 一つの竹に からまりて
やっと咲いたよ 白と紫

甲子園 帰りの土産 土拾い
戦い終えし 汗と涙で

Y・T

川柳

介護保険無用の身体有難し
あの手この手騙しの種は底がない
なりわいは理不尽の海泳ぐごと
トランプは前に輪をかけ傲慢に

愛のある妻の小言は子守唄

シャッターに絵を描く街の活性化

かみ合わせぬ奥歯もどかし老夫婦

我が居場所から点に老いの地図

中島 敬吾

岡本 清高

菊池 蘇水

皆さんの作品を掲載します

「広報 みなみあそ」では、団体加盟の作品の他、市民の皆さんの作品をお待ちしています。俳句や短歌、イラストなど、どしどしお寄せください!

〈提出日〉毎月5日締め切り

〈宛先〉〒869-1404 南阿蘇村大字河陽 1705-1

南阿蘇村役場 企画観光課企画係

〈Eメールアドレス〉skikaku@vill.minamiaso.lg.jp

〈お問い合わせ〉企画観光課企画係 TEL0967 (67) 1112

※作品を提出される際は、必ず「お名前」「連絡先」をご記入ください。

10月は『里親』月間です



メールからのお問合せはこちら→
お一人から団体まで、説明に伺います。



里親制度を推進するための集中的な広報啓発を実施するために、国は毎年10月を里親月間と位置づけました。

それぞれの事情で親と離れて暮らす子どもたちが、日本には約4万2千人います。また、熊本には、約650人います。そうした子どもを自分の家庭に迎え入れ、さまざまなサポートを受けながら養育するのが「里親制度」です。

里親家庭は特別な家庭ではありません。共働

き世帯、子育て中の世帯の里親登録も増えていきます。里親は自分の子どもとして迎え入れる特別養子縁組ではありません。一定期間、預かっていただく養育里親もあります。その中で自分のライフスタイルに合った活躍の仕方があります。里親制度は、子どものための制度です。皆さんに正しく知っていただくこと、理解していただくことが一番大切なことです。里親制度を正しく知ることから始めませんか。



〈里親の種類〉

- 養育里親…………… 18歳までの子どもを一定の期間自分の家庭に受け入れて養育する里親です。養育期間は、数日から数年とさまざまです。子どもの実親の養育環境が整った場合には、実親の元に帰ります。
- 特別養子縁組里親… 原則15歳未満の子どもを、特別養子縁組(法的親子関係の成立)を前提として養育する里親です。養子縁組が成立するまで、里親として養育します。
- 親族里親…………… 実親が死亡や行方不明などで子どもを育てられなくなった場合、児童の扶養義務者およびその配偶者である親族が子どもを養育する里親です。ただし、親族による養育が適当と判断された場合に限りです。
虐待により心身に有害な影響を受けた子どもや非行、障がいのある子どもなど、専門的なケアを必要とする子どもを養育する里親です。

〈問い合わせ〉養育家庭支援センターきらきら TEL096 (383) 8100